

令和 年度 個人カリキュラム・記録(3か月毎)

(参考資料7-3) (記入例)

児童名	
生年月日	令和 年 月 日

施設長	主任	担任

	ねらい(養護・教育)	記録(生活面・あそび・家庭との連携など)	自己評価
4月~6月	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え安心して健康に過ごせるようにする。 保育士と一緒にふれあい遊びをしたり戸外で春の草花や風を感じるなど自然に触れることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい担任に対し緊張が見られたが、一緒にわらべうたあそびをしたり、給食の援助をするなど関わる中で、笑顔が多く見られるようになった。 散歩先の公園で蝶を見つけて指差したり、後を追いかけてたりする。 風が強い日にこいのぼりが元気に泳ぐ様子を見て、保育士に「(こいのぼり)ねー」と指差しながら、一緒に泳ぐように体をゆらしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 登園時間が早くなり、生活リズムが変わったことで、疲れが見られたので、体調の変化に注意しつつ休息をしっかりとるようにした。 散歩の途中、道端に咲く花やてんとう虫などの昆虫を見つけてはしゃぐ姿が見られたので、「きれいだねー。赤色だねー。」などと言葉も添えていくことで、興味を持ち始めている。より好奇心を高めていけるような、保育室の環境整備も考えていきたい。
1月~3月			

ねらいは、養護と教育の視点をもって設定する。
 ○「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。
 ○「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である。

保育のねらいと記録を通して自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、環境構成や子どもに対する援助について改善に努める。

「ねらい」に対する子どもの様子や保育士の関わりなど保育の過程を記録する。必要に応じて日付等を記録する。